



2024年1月25日

各位

会社名 パーク24株式会社
代表者名 代表取締役社長 西川 光一
(コード:4666、東証プライム市場)
問合せ先 取締役上席執行役員経営企画本部長
實貴 孝夫
(TEL:03-6747-8120)

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、自己株式の処分（以下「本自己株式処分」又は「処分」）を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 処分の概要

(1) 処分期日	2024年2月22日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 73,464株
(3) 処分価額	1株につき1,857.5円
(4) 処分総額	136,459,380円
(5) 処分先及びその人数並びに処分株式の数	当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。） 4名 38,781株 当社の取締役を兼務しない執行役員 4名 9,413株 当社子会社の取締役 7名 25,270株
(6) その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件とします。

2. 処分の目的及び理由

当社は、2021年12月15日開催の取締役会において、当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。以下、「対象取締役」）、取締役を兼務しない執行役員及び当社子会社の取締役（以下、対象取締役と併せて「対象取締役等」と総称）に対し、当社企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、ステークホルダーの皆様との一層の価値共有を進めることを目的に、新たな報酬制度として譲渡制限付株式報酬制度（以下、「本制度」）を導入することを決議しました。また、2024年1月25日開催の第39回定時株主総会において以下の点等につきましてご承認をいただいております。

- ・ 本制度に基づき、対象取締役に對して譲渡制限付株式の付与のために支給する報酬（以下「譲渡制限付株式報酬」）は金銭債権とし、その総額は年額2億円以内（ただし、使用人兼務取締役の使用人分給与を含まない。）であり、年200,000株以内の当社普通株式を発行又は処分すること。
- ・ 譲渡制限付株式の譲渡制限期間は、当社と対象取締役との間で締結される譲渡制限付株式割当契約（以下「本割当契約」）により当社の普通株式の割当てを受けた日より、当社又は当社子会社の役職員の地位のうち当社の取締役会が予め定める地位を退任又は退職した直後の時点までの間とすること。

なお、本制度の概要等につきましては、以下のとおりです。

【本制度の概要等】

対象取締役等は、本制度に基づき当社又は当社子会社から支給された金銭債権の全部を現物出資財産として払込み、当社の普通株式について発行又は処分を受けることとなります。その1株当たりの払込金額は、各取締役会決議の日の前営業日における東京証券取引所における当社の普通株式の終値（同日に取引が成立していない場合は、それに先立つ直近取引日の終値）を基礎として当該普通株式を引き受ける対象取締役等に特に有利な金額とならない範囲において、取締役会において決定します。

また、本制度による当社の普通株式の発行又は処分に当たっては、当社と対象取締役等との間で本割当契約を締結するものとし、その内容は、ア．対象取締役等は、一定期間、本割当契約により割当てを受けた当社の普通株式について、第三者への譲渡、担保権の設定その他一切の処分を禁止すること、イ．一定の事由が生じた場合には当社が当該普通株式を無償で取得することなどが含まれることといたします。

この度当社は、指名報酬・ガバナンス委員会の答申を経たうえで、本制度の目的、当社の業況、各対象取締役等の職責の範囲及び諸般の事情を勘案し、中期事業戦略に掲げる「4つのネットワークの拡大とシームレス化」の実現による成長を目指す各対象取締役等の更なるモチベーションの向上を目的として譲渡制限付株式を付与することといたしました。

本自己株式処分においては、本制度に基づき、割当予定先である対象取締役等15名が当社又は当社子会社に対する本金銭債権の全部を現物出資財産として払込み、当社の普通株式（以下「本割当株式」といいます。）について処分を受けることとなります。本自己株式処分において、当社と対象取締役等との間で締結される本割当契約の概要は、下記3.のとおりです。

3. 本割当契約の概要

(1) 譲渡制限期間

2024年2月22日から当社又は当社の子会社の取締役、執行役、取締役を兼務しない執行役員、監査役、顧問、相談役又は使用人その他これに準ずる地位のいずれの地位をも退任又は退職した直後の時点までの間

(2) 譲渡制限の解除

対象取締役等が職務執行開始日からその後最初に到来する定時株主総会の終結時点の直前時までの期間中、継続して、当社又は当社の子会社の取締役、執行役、取締役を兼務しない執行役員、監査役、顧問、相談役又は使用人その他これに準ずる地位のいずれかの地位にあったことを条件として、本割当株式の全部について、譲渡制限期間の満了時点で譲渡制限を解除する。

(3) 退任又は退職した場合の取扱い

対象取締役等が、当社又は当社の子会社の取締役、執行役、取締役を兼務しない執行役員、監査役、顧問、相談役又は使用人その他これに準ずる地位のいずれの地位をも任期満了又は定年その他の正当な事由（死亡による退任又は退職を含む。）により退任又は退職した場合には、本割当株式の全部について、対象取締役等の当該退任又は退職した直後の時点をもって、譲渡制限を解除する。

(4) 当社による無償取得

対象取締役等が、譲渡制限期間中に法令違反行為を行った場合や、その他本割当契約で定める一定の事由に該当した場合、当該時点において保有する本割当株式の全部を、当社は当然に無償で取得する。また、当社は、譲渡制限期間満了時点又は上記（3）で定める譲渡制限解除時点において、譲渡制限が解除されない本割当株式について、当然に無償で取得する。

(5) 組織再編等における取扱い

譲渡制限期間中に、当社が消滅会社となる合併契約、当社が完全子会社となる株式交換契約又は株式移転計画その他の組織再編等に関する事項が当社の株主総会（ただし、当該組織再編等に関して当社の株主総会による承認を要しない場合においては、当社の取締役会）で承認された場合には、取締役会の決議により、当該時点において保有する本割当株式の全部について、組織再編等効力発生日の前営業日の直前時をもって、これに係る本譲渡制限を解除する。また、本譲渡制限が解除された直後の時点において、譲渡

制限が解除されていない本割当株式の全部を、当社は当然に無償で取得する。

(6) 株式の管理

本割当株式は、譲渡制限期間中の譲渡、担保権の設定その他の処分をすることができないよう、譲渡制限期間中は、対象取締役等が野村証券株式会社に開設した専用口座で管理される。当社は、本割当株式に係る譲渡制限等の実効性を確保するために、各対象取締役等が保有する本割当株式の口座の管理に関連して野村証券株式会社との間において契約を締結している。また、対象取締役等は、当該口座の管理の内容につき同意するものとする。

4. 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

割当予定先に対する本自己株式処分は、本制度に基づく当社の2024年10月期（第40期）事業年度の譲渡制限付株式報酬として支給された金銭債権を出資財産として行われるものです。処分価額につきましては、恣意性を排除した価額とするため、2024年1月24日（取締役会決議日の前営業日）の東京証券取引所プライム市場における当社の普通株式の終値としております。これは、取締役会決議日直前の市場株価であり、合理的で、かつ特に有利な価額には該当しないものと考えております。

[参考]

・2023年12月14日 譲渡制限付株式報酬制度及び取締役の報酬額に関するお知らせ

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4666/tdnet/2372767/00.pdf>

・2021年12月15日 譲渡制限付株式報酬制度の導入に関するお知らせ

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4666/tdnet/2059925/00.pdf>

以 上